

Vol. 245 山燃え 人燃える 上総亀山
ご苦労でした「キハ」ラストラン (平成 24 年 12 月 10 日)

12月1日、この日は曇り空でお天気が少し心配されましたが、1%支援事業の視察も兼ねて朝10時に亀山湖畔やすらぎ館前広場へと着きました。

すでに広場は地元の方々が広場を取り巻くように小さな直売店を並べて私達にすっかり慣れた口調で呼びかけて来られました。自然薯、漬物、野菜、花、つきたての餅、田舎寿司、焼き米、おにぎり、がっどお串、アクセサリー、リサイクル等20店余りにぎわっておりました。皆さんすっかり商売上手でありました。私は少年の頃、うまかった記憶にある焼き米飯を先ず買い、青年部のがっどお串を食べ、シクラメンの大鉢を土産に買いました。

時間的には少し早かったようですが、三石コースへ東大演習林コースへと登山姿をされた方々が後から後から続きました。

そば屋の上総屋京兵衛さんの前を右へ曲がってすぐの道路の右側下に亀山湖畔公園が見えます。その公園に今評判のメタセコイアの広場があります。メタセコイアはかつて化石植物でいられておりましたが、四川省で現生種が発見され、その立ち姿が美しく秋になりますと薄黄金色となり、葉脈を透かして見る様な繊細な美しさが愛されて公園樹等に多用されておられます。夜はライトアップされていると聞いて、5日の夜、再び夜のメタセコイアを見て参りました。ライトアップされたメタセコイアは淡いオレンジ色の透き通る様な美しさでありました。今は20本ですが、亀山湖畔公園全体に広げられたなら、イルミネーションと異なる幽玄のすばらしい世界が生まれ、きっと房総の新しい名勝となるだろうと思います。ライトアップは9日で終わりましたが、是非百聞一見に如かずであります。来年ご覧になってください。

お二人であればなおさらであります。

そこからすぐ先の滝原部落には、文政12年(1823年)建立と墨書された苔むした亀山神社があります。一見の価値がありますとお勧め致します。私達はこのあたりでUターンして三々五々歩かれる人達に逆行して片倉ダム周辺の紅葉祭りへと参りました。いくつかの渡った橋の下を紅葉狩りクルーズが歓声を上げて通り抜けて行きました。

私も何度かクルーズに乗りましたが、クルーズからの紅葉狩りはまた格別であります。

紅葉狩りクルーズをされる方は7千人を超えるとの事でした。片倉の紅葉祭りはすでに笹の山神社神楽が奉納され、こちらは舞台を中心に地元の直売店が並びリピートのお客さんが多い様に見受けられました。

毎年の事ですが、地元警察署の方が大変協力して下さり大感謝であります。

千寿の湯のご主人の話ですと「幸福の鐘」にも観光バスがとまり、延べ千名位の名勝となっておりますと嬉しい話でした。

この日の午後、久留里は「旧型キハラストラニング」とあってマニアたちが凡そ3千人。1時頃にはホームに上がれない客が改札口から広場まで続いております。非公式ですが、オータムフェスティバル6万人余り、紅葉祭り2万人余り、旧型キハラストラニングフェスタ3千人、この自然豊かな房総の地が都会の雑踏の中で疲れた心や体を癒してくれる格好の所だとこの数字が証明してくれております。

私達はこうした催しを考え、決断した知恵、やる気をもっと街中へ広めていく25年としたいものです。

追伸・・・12月2日、小糸スポーツ広場「こいスポ」にも1,500名近い人が集まりました。

